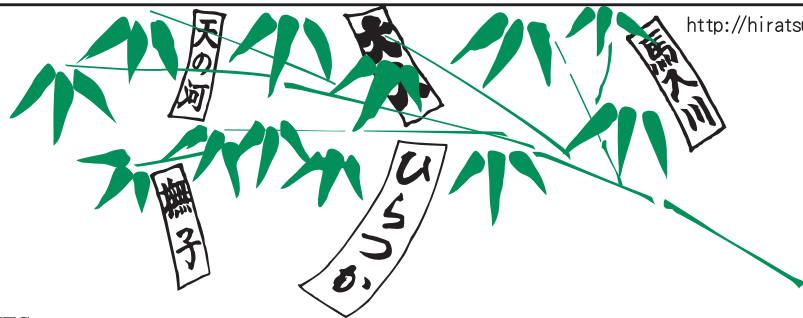




2013～2014年度 国際ロータリーテーマ
ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES
 「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」



<http://hiratsuka-rotary.jp>

HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 牧野國雄 ● 副会長 常盤卓嗣 ● 幹事 清水 裕 ● 会報委員長 青山紀美代 (2013～2014年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:15～13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2944回例会 2014年5月8日 グランドホテル神奈中 週報第2944号

本日の卓話者ご紹介

元伊藤忠商事
 鈴木孝幸様



卓話

～私のイラク人質経験～

元伊藤忠商事 鈴木孝幸

【イラクのクウェート侵攻】

イラクがクウェート国境を越えて侵攻したのは、1990年8月2日の未明ですが、その時、私は4年の任期を1カ月残すばかりでした。

当時、イラクとクウェートの間では、イランイラク戦争時の負債返済や、北部ルメイラ油田の権益、更にはワルバ・ブビアン両島の領有権などの問題がこじれていて、イラクが国境の軍を約10万人まで増大させ、圧力を掛けていたことは承知していました。ただ、国際社会の大勢がそうであったように、よもや現実には侵攻するというようなことが起こるとは思っていませんでした。

【日本大使館への避難と地下ホールでの共同生活】

戦闘はあっけなく終わりましたが、どのような展開となるのか分からないので、日本大使館に逃げ込みました。そこでは、治安状況の把握、食料の調達、清掃、子供の

世話など、日本人だから出来る緻密さで、整然と役割をこなす生活をしていました。イラク兵も、日本人に対して危害を与える様子もなく、数日後には昼間に限り自宅に戻って、シャワーを使うことや貴重品を手許に置くことが出来るようになりました。

【バクダッドへ】

大使館は、バクダッド経由アンマンへ脱出させるためイラクと交渉し、23日～24日の両日、4つのグループに分けてイラク航空でバクダッドに向かうことになりました。私は、第1陣でバクダッドに入りましたが、空港には、在イラク大使館員や日本企業の駐在員が出迎えに来ていました。

その後、マンスールメリアというホテルまで連れて行かれましたが、当初は入国手続きをするのだらうと気楽に考えていました。けれど、数時間たってもその気配はない。そればかりか、大使館員や日本人学校の先生方だけピックアップして行き、残ったのは民間駐在員とその家族だけとなりました。流石にこの状態になると、何かがおかしい人質にされるのではないかという声が高まってきました。結局後続の全員も含め、イラク側から「人間の盾になってもらうので、指定の人数ごとにグループを作れ」と言い渡されました。

【人質生活】

私は、商社7名、メーカー3名というグループに入り、最初北部のキルクークという油田地帯に連れて行かれました。収容されたのは、昔ドイツが作ったと思われる油田作業員の宿舎で、周囲は殆ど砂漠、遠くに油田のフレアスタックが臨めるという場所でした。ここには、我々の他イギリス軍人夫婦4組とエアフランス職員3名、アメリカ人の石油技術者1人が居ましたが、イギリス人の

<出席報告>

本日 5月8日	会員数 61名	対象者 57名	出席者 45(41)名	出席率 73.77%			
前々回 4月17日	会員数 61名	対象者 57名	出席者 42(39)名	出席率 70.00%	MUP 6名	計 48名	修正率 80.00%

女性は9月初めに解放され、男性18名が凡そ1カ月間暮らすことになりました。その後、18名はもう少しバクダッド寄りの、ペイジ製油所に移動させられ、ここの従業員食堂で解放までの約2か月間寝泊りしました。

実体は人質 (hostage) ですが、イラクの軍事拠点を攻撃から守るという役割を帯びた客 (guest) ですから、我々は、ゲステイジ (guestage) と呼ばれるようになりました。確かに軟禁生活を強いられ、外部との自由な交流を遮断されていますが、他方一般のイラク人が口にするものの出来ない、肉魚料理や洋酒、外国産タバコが支給され、スポーツ施設で水泳をし、上流階級の家族と共にバーベキューパーティに参加し、健康管理にも気配りがなされるなど不思議な扱いでした。

人質生活では、3食が定時にすることが決められているだけで、他に強制されることは殆どありませんでしたが、戦闘がイラクに及ぶことがあれば生命の危険に及ぶことは明らかであり、またそうした生活がどれほどの期間続くのか分からないという不安がありました。また、自分に万が一のことがあった場合の家族のことを思うと、胸が締め付けられる思いでした。これらの経験はなかなか語り尽くせるものではありませんが、限界的状況の中でも他人への思いやりを忘れない方と出会ったことや、危機の中で自らをコントロールする力を自覚することが出来たことなど、得るものも多い貴重な経験でした。

卓話者プロフィール

鈴木孝幸様

1950年生まれ 出身地 神奈川県横浜市

【略歴】

- 1974年 3月 東京大学理学部 卒業
- 4月 伊藤忠商事 入社 調査情報部
- 81年 9月 (財)日本エネルギー経済研究所 出向 (研究員)
- 86年 8月 クウェート 駐在 (エネルギー部長)
- 91年 1月 エネルギー部門企画管理部
- 95年 4月 エネルギー部門営業開発チーム長
- 95年 7月 経済同友会 出向 (調査役)
- 98年 7月 経営情報室長
- 2000年 4月 伊藤忠マネジメントコンサルティング (株) 出向 (経営コンサルティング部長など)
- 06年10月 調査部(チーフビジネスアナリスト) 兼 開発戦略室
- 09年 4月 財団法人 地域活性化センター出向 (振興部長)

- 11年 4月 秘書部 (シニアアナリスト)
- 12年1月 経済同友会 出向 (参与)
- 14年 3月 伊藤忠商事 退社
- 現在 有限責任事業組合 (LLP) 設立準備中

【主なビジネス分野】

- (1) 産業調査及びビジネスコンサルティング
- (2) 地域活性化関連ビジネス
- (3) リーテイル関連ビジネス

<幹事報告>

◎次年度会長幹事へ『2016 規定審議会立法案提出のお願い』

- 提出内容：(1) クラブにて採択された立法案
(2) 採択されたことを証明するクラブ会長・幹事の署名
(3) 提案者による趣旨と効果に対する声明文 (300字以内)

提出締切：7/31原則郵送

提出先：ガバナー事務所

- 添付書類：(1) 2016 規定審議会立法案提出方法
(2) 立法案記入例

<メイクアップ>

6名

青山紀美代・吉柳恵子・田島裕巳・前田孝平・宅野順彦・鳥山優子 会員

<本日のスマイル>

20名

<ゲスト・ビジター>

1名 鈴木孝幸様(卓話者)

<卓話・行事予定>

- 5月22日 (木) サクセスホールディングス(株) 代表取締役社長 柴野豪男様
- 29日 (木) 『家-JIA-』代表兼事務長 原田燎太郎様
- 6月 5日 (木) 下期情報集会報告
- 12日 (木) 第8グループガバナー補佐 桐本美智子会員
- 19日 (木) 牧野会長卓話
- 26日 (木) 新会員歓迎夜間例会 18:00~

<市内例会変更>

平塚西	6/25(水) ➔ 6/22(日) 納会 (移動)
平塚南	5/23(金) ➔ 5/21(水) 家族親睦旅行